



かかみがはら

K A K A M I G A H A R A



おいしく できたよ

好きな具材をパンにはさんで、楽しいサンドイッチランチ。
ファミリーサポートセンターの利用会員とサポート会員の交流会が開かれました。



この広報紙には、皆さんの会費と
赤い羽根共同募金が使われています。

みんなが主役のまちづくり」をめざします

重点事業

- 支部社協を中心とした地域福祉活動の推進
- 近隣ケアグループ活動の周知と研修会の開催
- ボランティアハウスの新規開設に向けての支援促進
- 福祉の人材発掘を目的とするサポーター塾の開催
- 地域資源を活用した社会福祉協議会らしい介護保険事業の提供

ボランティアセンター活動事業

- ①ボランティア養成講座の開催
 - 要約筆記奉仕員養成講座
 - 音訳ボランティア養成講座
 - 手話奉仕員入門・基礎課程養成講座
 - ★点訳ボランティア養成講座
- ②ボランティア活動の支援・情報提供
 - ボランティア活動に関する相談、登録、募集及び派遣調整
 - 社協かかみがはらの点訳、音訳業務の委託
 - 収集ボランティアサロン
(古切手や使用済みテレホンカードなどを収集・整理)
 - ボランティア活動の補償(活動保険加入)
- ③福祉教育の推進
 - 福祉推進校の指定…市内全小中学校、高等学校、養護学校を指定し、福祉を学ぶ授業を実施
 - 高齢者疑似体験セットの貸出し
 - 心のバリアフリー教室の開催



収集ボランティアサロン
毎月第3金曜日ボランティアルームにて

日常生活自立支援事業

・岐阜地区福祉サービス利用支援センター

生活福祉資金貸付事業

高齢者生きがいセンター川島園デイサービス事業

地域包括支援センター事業

「つながり交流会」をはじめとする高齢者を地域で守るためのネットワーク活動
ボランティアハウスなどでの介護予防を目的とした講座の開催
家族介護者のための教室開催と相談
介護予防プランの作成と福祉総合相談の継続充実
高齢者虐待への早期対応と権利擁護
★よろず出張相談

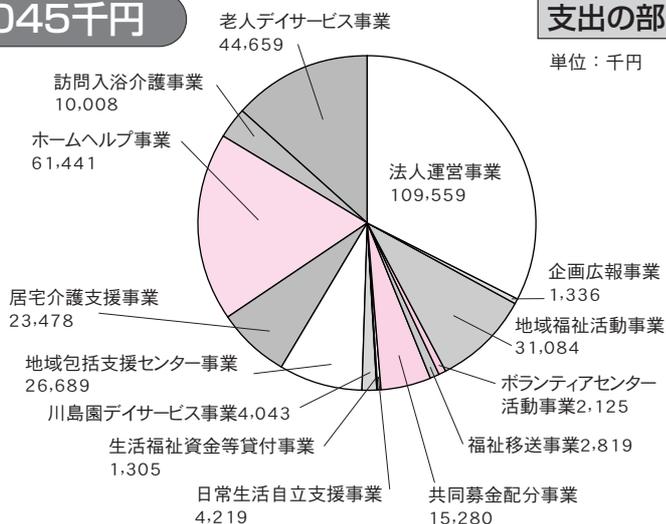
介護保険事業

- ①居宅介護支援事業
 - 自立支援を目的としたケアプランの作成
- ②ホームヘルプ事業
 - 訪問介護サービスの質の向上とヘルパー派遣体制の強化
 - 障害者自立支援法によるヘルパーやガイドヘルパーの派遣
 - 介護保険外サービス提供の充実
 - ・生活援助活動員派遣事業
 - ・まごころサービス
- ③訪問入浴サービス事業
- ④老人デイサービス事業

338,045千円

支出の部

単位：千円



桜2ボランティアハウス 簡単タオル体操

★マークは今年度新規事業です



しゃ 社会福祉 協 議 会 は、 「 さ さ え て さ さ え ら れ て き ょ う 」

平成23年度

事業計画・予算

5つの重点事業を中心に、お互いの顔が見える身近な事業を通して人々がつながり、支えあえる仕組みづくりを進めていきます。(主な事業を紹介します。)

法人運営事業

- 理事会、評議員会の開催
- 新規会員・特別会員の加入促進
- ★会費募集月週末の日曜開庁と平日時間延長受付

企画広報事業

- 各務原市福祉フェスティバル2011の開催と助成 (9月11日)
- 第45回各務原市社会福祉大会の開催 (11月22日)
- 社協かかみがはらの発行 (年4回)
- ウェブサイトの運営
<http://www.kakamigahara-shakyo.jp/>
- 社協バッジ・ストラップによる
ささえあう福祉のこころの伝達PR

地域福祉活動事業

- ①支部社協活動の充実・強化
自治会連合会長・社協支部長合同会議の開催
社協支部長・福祉推進員合同会議の開催
支部長会及び県外研修会の開催
支部社協活動の手引きの作成
★支部メニュー事業の助成拡大と組み合わせ活用の推進
- ②ボランティアハウスの普及促進
ボランティアハウス運営支援の継続・拡大
★新規開設に向けてのきっかけ提供とコーディネートを展開
ボランティアハウス活動充実のための貸出物品の整備
「市民福祉講座-ボランティアハウスのつどい」の開催
- ③障がい者軽スポーツ教室の開催
- ④ファミリーサポートセンター事業
会員交流会の開催、PRパンフレットの配布
- ⑤高齢者健康増進事業
「市民福祉講座」の開催
高齢者口腔機能向上・栄養改善講座の開催
お達者でクッキング (年2回)
- ⑥支えあいサポーター事業
支えあいサポーター塾の開催
修了生へのフォローアップ研修会の開催
- ⑦近隣ケアグループ活動の支援
活動費の助成と「活動の手引き」の作成



ボランティアハウス「なかよしハウス」笑顔がたえません。

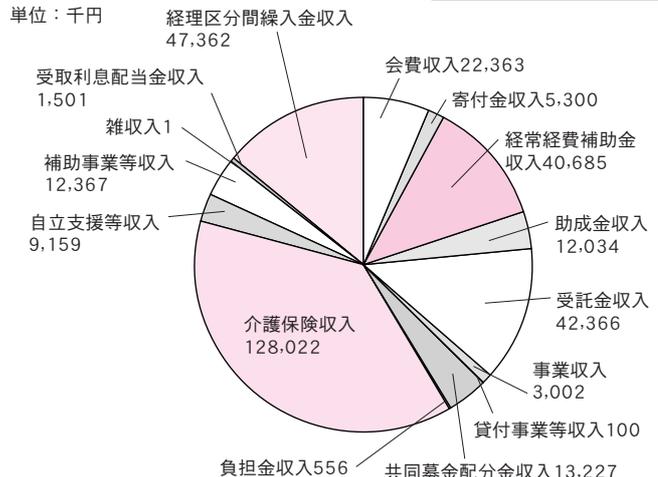
「ご近所の見守り活動について考える市民福祉講座」の開催

- ★17支部社協近隣ケアグループ研修会の開催
- ⑧在宅生活・地域福祉活動の支援
福祉有償運送事業
車いすや松葉杖、レクリエーション用品などの貸出し
- ⑨共同募金運動への協力
共同募金運動 (赤い羽根募金・歳末たすけあい募金)の展開及びPR
支部社協及び障がい者施設への歳末特別事業の助成
- ⑩旅行者への援助
- ⑪行政や自治会連合会、民協などとの連携及び助成

収入の部

平成23年度 総予算

単位：千円



ボランティアハウスを立ちあげよう！

密着ルポ ボランティアハウスができるまで

ボランティアハウスは、地域の高齢者や身体障がいのある人、子育て中の親子らが気軽に集い、楽しく過ごせる場所と内容を自分たちで作っていく活動です。市内には、67ヶ所のハウスがあり、どのハウスも毎回とても楽しく活動しています。新たに4ヶ所のハウスが立ち上がり、その取り組みを「松が丘いきいきハウス」と「松本パンダクラブ」を例に紹介いたします。



Part ① 「松が丘 いきいきハウス」

団地で坂も多い松が丘。高齢者夫婦のみの世帯も増え、これまでのご近所付き合いよりも一歩進んだ関わりが必要な時期にきています。そんな状況の中…

その1

近隣ケアグループ員、サポーター塾修了生の皆さんが、地域で気軽に立ち寄れる場所があると日ごろの見守りにもつながりやすいよねという話ができる。

その2

支部社協福祉推進員さんに話したところ、一度みんなで相談しようということになる。

その3

福祉推進員さんからの連絡を受けて社協職員も参加し、ハウスの活動内容や手続き、運営方法などについて話し合いをする。



ポイント

社協職員も地域の話し合いに参加します。まずは、気軽にご相談ください。活動内容や書類は社協ホームページからもダウンロードできます。

まずは、月1回から開催してみようということになり、ハウスの名前を「松が丘いきいきハウス」と決定しました。

その4

支部社協を通して申請書が提出。いよいよスタートです。



ポイント

話し合いに福祉推進員さんも参加してください。自治会への理解と応援を得ることがスムーズに行えます。



4月15日いよいよオープン

皆さんの声をいただきました。



知らない方もいるので、新しいお友だちができるといいわあ

子どもたちも無事に独立できたのも地域のおかげ。なにか恩返しができないかと思っていました。サポーター塾を受けてその思いが強くなり、有志に声をかけました。モーニングコーヒーを飲みにくるように、子どもやお母さんたちなど、どなたでも気軽に来てほしいです。

運営スタッフの皆さん



みんなでドキドキしての会場準備。多くの人に来てくれるか不安でした。そんな不安もまずは一安心。



地域の活動ならと地元の新聞店が新聞を差し入れてくださいます。次回の松が丘いきいきハウスは、5月20日(金)午前10時から開催します。ぜひ、ご参加ください。

参加されておられた方に子育てのことを話しておられました。子育ての先輩でもあり、楽しく会話が進んでいました。



機械いじりや 修理がお好きな方！

思い出のおもちゃを修理する「おもちゃ病院かわせみ」では、ドクターを募集しています。ドクターと言っても「おもちゃドクター」ですので、医師の資格は必要ありません。『機械いじりや修理などが好き』『新たな仲間と、なにか楽しいことをしてみたい』とお考えの方、一度おもちゃ病院に遊びに来てください。

自分の特技や能力を社会貢献に役立ててみてはいかがでしょうか？

経験・年齢・性別を問いません。

おもちゃ病院かわせみ

診療日時

毎月第2・4土曜日

午前10時～12時

場所

各務原市総合福祉会館 2階

ボランティアルーム

お問合せ

各務原市社会福祉協議会



ボランティアグループ紹介

73

中部学院大学 ボランティアサークル 「たんぽぽ」



私たちは中部学院大学のボランティアサークル「たんぽぽ」です。

たんぽぽは、将来保育士や教師、社会福祉士としての技術を身につけたいと思っている人が集まり活動をしています。技術を身につけながら少しでも多くの地域貢献をしていくことを目的としています。



具体的には、各務原市主催のちびっこ冒険広場や児童館、保育所、託児ボランティアなどで幅広い年齢の子どもたちと一緒に楽しめる活動をしています。

特に市主催の「もみじ祭り」では、しっぽとりやブーメランなど、自分たちで遊びを企画しました。その中で「楽しかった」「またやりたい」という声を子どもたちから聞き嬉しさと同時に難しさも感じました。また子どもたちや保護者の方と何度も出会うことで私たちのことを覚えてくださり、より深いかかわりとなり人との繋がり大切さを感じることができました。これからも多くの子どもたちや保護者の方とかがわっていききたいと思っています。

Part ② 「松本町 パンダクラブ」

3月のことです。一年間の近隣ケアグループの活動を終えて、素直に感じたことを仲間打ち明けた方がいました。

『この一年、地域の先輩方と接することがとても楽しかった。皆さんにもとても喜んでもらえ』

その思いはすぐに、町内の主要メンバーを集めての会議の開催に至りました。その中でも賛同を得ることができ、みんなで開催日の設定をし、上野動物園に来たばかりでかわいらしく人気のある動物から「松本パンダクラブ」と名称を決定。

自治会からの協力もあり、現在はボランティアハウスの開催について、回覧版で『このゆびとまれ！』と案内をしているところですよ。



たし。今後も気軽に寄れる場所をがあるといいなあ。」

すると賛同してくれる仲間が2人いたのです。嬉しいことに、3人でボランティアハウスの詳細を社協へ尋ねに来ていただけました。

「やっぱり地域の皆さんの理解が必要だね。」「呼びかけをしなくても協力者を増やしたい。」

いを伝えることから始まることがあることも勉強になりました。



『支部社協』って

なんだらう？

各務原市社会福祉協議会では、概ね連合自治会単位（小学校区ぐらゐの規模）で、17の支部社協が組織されています。

で一律に事業を実施することもできませんが、開催場所や人数制限など事業全体に偏りがでたり、きめ細かな地域性を配慮できないことができてしまいます。

なぜ、組織されてくるの…

支部社協が組織されているのは、私たちの日常生活の身近なところで「地域の福祉活動を展開する」ことが望ましいからです。例えば、市全体

現在、17支部社協では、それぞれ役員などを組織し、身近な福祉活動を展開しています。例えば、福祉の活動を広め、参加できるイベントを催したり、敬老会行事や、三世代の交流事業など、その地域にあった活動を行っています。

より身近な

地域での活動は…

社会福祉協議会では、歩いて行ける範囲で、「ボランティアハウス」が、市内で67か所が開設されています。

さらに、近所での見守り活動を行う「近隣ケアグループ」については286グループが各地域で活動しています。

今年度は支部社協のなかで、

重点事業は…

今年度は、市社協として「メニュー事業」を一部見直ししました。特に、重点を置くものとして「ボランティアハウス」の新規開拓のほか、福祉座談会やアンケート調査の実施、福祉への関心を深め、新たな人材を育成するための講座などがあります。



研修会を開催していきます。

支部社協の活動財源は、8月に募集する社協会費です。

支部交付金として、会費実績の35%が交付されます。その他、メニュー化された12の事業を実施すると、助成基準により活動費が助成されます。

こんな活動が行われています



元気が一番。支部健康づくり教室



一人暮らしの高齢者などを囲んだ食事会
(地元の中学生やボランティアも活躍)



福祉座談会
「地域でできることは何?」



4月に開設されたボランティアハウス
「皆が寄れば自然と笑顔になります」

受講生・参加者募集

指で手話（はな）してみませんか ～手話奉仕員養成講座～

耳の不自由な方にとって大切なコミュニケーション手段の一つである手話を学びます。

初めて手話を学ぶ方を対象にした講座です。

- 日 程 8月12日～12月16日までの毎週金曜日
(9月23日をのぞく全18回) 午後7時～9時
- 会 場 総合福祉会館3階 集会室 他
- 講 師 各務原市聴覚障がい者協会
- 協 力 手話サークル「はにわ会」
- 定 員 40名 (定員になり次第締切り)
- 受講料 1,200円
- 申込み 社会福祉協議会総務課 電話 058 (383) 7610



一緒に手話を学びましょう

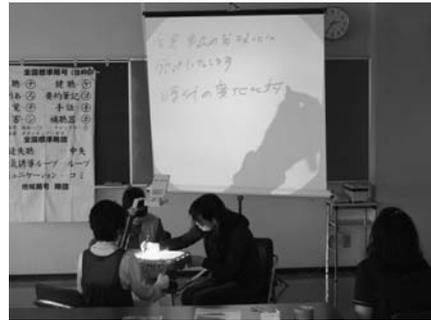
書いて伝える気持ちや言葉 ～要約筆記奉仕員養成講座～

聞こえに障がいがある方(中途失聴者)に、講演や研修会の場でOHPに内容を書き写して伝えるものが「要約筆記」です。また個人の場合には紙に筆記する形で行います。

講演会や研修会、また病院や公的機関での手続きの際などに、こういった要約筆記活動をしていただく方を養成する講座を開催します。

文字を書くことが好きな方、楽しく学びませんか。

- 日 程 9月3日～12月17日までの毎週土曜日
(全16回)
- 時 間 午前9時30分～11時30分
- 会 場 総合福祉会館研修室
- 講 師 要約筆記サークル「かがみの会」他
- 定 員 15名
- 受講料 1,050円 (テキスト代)
- 申込み 社会福祉協議会総務課
電話 058 (383) 7610



話のスピードにあわせて書いています

食卓をみんなで囲もう！ ～お達者でクッキング～

- 日 時 6月24日(金)
午前10時～午後1時
- 会 場 総合福祉会館
3階料理室
- 対 象 一人暮らしの高齢者・
高齢者夫婦の方
- 参加費 500円(材料費)
- 定 員 25名
- 協 力 市食生活改善協議会
- 申込み 6月20日(月)までに
社会福祉協議会 総務課
電話 058(383)7610

支えあいサポーター塾 受講者の声

社会福祉協議会では、ひとり暮らしであっても障がいがあっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを進めています。地域で支えあえる担い手、理解者を増やすために「支えあいサポーター塾」を開催し、三月に修了式と交流会を行いました。介護実技や相手の話を聴く技術など、七日間に及ぶ講義を受けられ、二年間で八十七名の方が修了されました。受講生の感想を一部、紹介します。

あらためて自分自身を知るとい機会をいただき良かったです。自分なりに欠点を自覚しそれをカバーしようとして受講しましたが、良い点も見つめ直して生かしていければと思いました。

認知症の問題は避けて通ることはできません。初期症状のときに発見し治療し始めることにより進行を遅らせることができることを聴き、参考になりました。近隣ケアの方々とも接して声を掛け合い、異変に気付いてあげることができるようになりたいです。

救急救命の実践をする機会はなかなか無いので、大変参考になりました。介護の実技は実際行ってみると大変でした。腰を痛めないための起き上がり方や、介護のコツを教えてくださいいただき、とても参考になりました。



“コミュニケーションのとり方”研修のようす

ご協力ありがとうございます 東日本大震災義援金お礼



このたびの大地震で被災された皆様への義援金募集につきまして、多くの方々にご協力をいただきありがとうございます。義援金の募集については9月30日まで引き続き募金活動を行なっておりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

岐阜県共同募金会各務原市支会



「ご近所の見守り活動について考える」市民福祉講座の開催について

社会福祉協議会では、だれもが住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるまちを目指して地域福祉活動を展開しております。

このたび「ご近所の見守り活動について考える」と題して、市民福祉講座を開催いたします。内容は、近隣ケアグループの活動についての説明とケアタウン総合研究所代表の高室成幸氏を迎えて講演



高室成幸氏

会を開催します。地域のたすけあいや支えあい活動などに興味のある方の参加をぜひお待ちしております。

- 日時 5月29日(日) 午後1時30分～3時30分
- 会場 各務原市民会館 (蘇原中央町)
- その他 入場は無料ですが、電話で申込みが必要です。
- 申込み先 各務原市社会福祉協議会 総務課 ☎058 (383) 7610



善意のご寄付をいただき誠にありがとうございました

(敬称略・順不同 平成22年12月11日～平成23年4月10日)

金 銭

・前田 和慧	24,762円
・浅野 たね	100,000円
・那加第三女声コーラス	8,260円
・KYB労働組合	30,000円
・ひばり体操クラブ	
代表 飯沼 敏子	22,054円
・岐阜県中古自動車販売商工組合	
中濃支部各務原ブロック	76,377円
・真伝不動明王寺	50,000円
・大里 米光	41,145円
・めんばあずジュン	13,300円
・石井 満	2,032円
・波多野 耕三	18,000円
・ライフカレッジ那加東	11,597円
・ライフカレッジ那加西	16,356円
・市民プール (株)愛知スイミング	11,302円
・近藤 勇	2,433円
・あすみ 万里子	22,515円
・翌檜俳句会	648円
・東濃信用金庫鵜沼支店	432円
・情報推進委員元屋3.屋4	26,512円
・ぎふ農業協同組合	136,205円
・宇野 巳代治	5,715円
・ユーホーム各務原店	20,000円
・アピタ各務原店	29,344円
・ピアゴ各務原店	22,808円
・ぎふしん愛の募金会	40,000円
・すばらの会 代表 清水 六雄	16,340円
・匿名5件	1,125,212円

物 品

- ・トヨタ部品岐阜共販(株)
- ・イトーヨーカドー各務原店
- ・松浦義一
- ・匿名2件

職員募集

- 職種 ホームヘルパー またはデイサービス介護員
- 雇用形態 パート職員 (時間給)
- 資格要件
- ① 55歳くらいまでの健康な方
- ② 介護福祉士またはホームヘルパー2級以上
- ③ 普通自動車免許(送迎車輛の運転ができること)
- 勤務日時 月曜日～土曜日 8時30分～17時15分のうち指定する日・時間(相談応電)
- 勤務場所 各務原市社会福祉協議会の里老人デイサービスセンター またはヘルパー事業所

問合せ・詳細

各務原市社会福祉協議会 事業課
電話 058(383)7623

ひとりごと

「あすなる」という言葉が好きです。明日はヒノキのように立派になろう。という意味ではなく、失敗しても、くじけても前向きに生きるという意味が自分には合っているからです。小学生の子どもが二人います。が、これまで自分から何かをしようと出来なかった子が、今回の大震災後、「かわいそう、家も家族もなくなつて」、「何をしたらいいかな」と言いました。何もできないかもしれないが、思う気持ちが尊く、それが被災地の方々に對して一番の励みになるのではと感じています。

前向きに生きる気持ちを大切に、これからも成長してもらいたいと思つています。

(大野 幸博)